「connection」

—初稿—

2025/7/26

さいの

〈人物表〉

山村 俊樹 (34)

単身赴任中のサラリーマン

山村 永愛 (3)

俊樹の娘

山村 詩子 (34)

俊樹の妻

西本 恵子 (60)

詩子の母

藤川 芽瑠 (3)

永愛の幼稚園の友達

藤川 龍雄 (39)

芽瑠の父

藤川 真由 (32)

芽瑠の母

1. 俊樹のコンドミニアム・外観（朝）

空が白み始めている。

2. 俊樹のコンドミニアム・キッチン（朝）

棚に置かれたインスタント味噌汁と、ベトナム語表記の即席麺や菓子の袋。

3. 俊樹のコンドミニアム・ベッドルーム（朝）

山村俊樹（34）、広々としたキングサイズのベッドに一人で眠っている。汗ばんでいて、寝苦しそう。床には英字新聞や食べ物のパック容器、ビールの缶などのゴミが無造作に転がっている。部屋の壁にはクレヨンで描いた似顔絵や折り紙の工作が飾ってある。どれも小さな子供の手によるもの。俊樹、ハッと目覚め枕元のスマホを確認。天を仰ぐ。

4. 俊樹のコンドミニアム前（朝）

俊樹、小さなスーツケースを携え、急いでエントランスから出てくる。寝癖も直さずシャツの裾が出ていたり、急ごしらえの装い。表の通りに停まっているタクシーに乗り込む。

5. タクシー車内（朝）

俊樹、額の汗を手で拭う。停車。道が渋滞している。クラクションの音。車の脇をスルリと抜けていく数台の自転車。

6. 空港・タクシー乗り場（朝）

俊樹、車から飛び降りて駆け出す。

7. 空港・構内（朝）

俊樹、人混みを掻き分けて進みながら、ズボンやシャツのポケットから何か探すが、中々見つからない。やむ無く立ち止まって、人目も憚らずスーツケース

を開けポケット部分を開くが、何も無い。
通りすぎる人々からの、迷惑そうな視線。
ハツと思いついて、尻ポケットから搭乗券を発見。
急いでスーツケースを畳む。

8. 空港・保安検査場（朝）

俊樹の荷物が検査に掛けられている。
俊樹、腕時計をチラチラと何度か見る。
無事に検査が終わり、思わず小さくガッツポーズ。

9. 空港・搭乗ゲート（朝）

ゲート前には客が他にも何人か。皆急いではない。
日系航空の日本人スタッフが搭乗手続きの対応を
している。急いでやってきた俊樹、笑顔のスタッフに
搭乗券を渡して、ゆっくり息を整える。
スタッフ、搭乗券を見て一転、怪訝な表情。俊樹に
話しかける。俊樹、ポカンとする。

10. 空港・また別の搭乗ゲート（朝）

ゲート前には誰もおらず、ベルトパーティションが
置かれている。俊樹、立ち尽くしている。
ガラス窓の向こうに小さく、離陸する飛行機の姿。

11. 空港・航空会社カウンター（朝）

スタッフ、苦笑い。俊樹、トボトボと踵を返す。
スマホを取り出す。待受は笑顔の俊樹とそっけない
顔の娘・永愛。

12. 西本家・外観（昼）

和モダンスタイルの家。けたたましい蝉の鳴き声。

13. 西本家・ダイニング（昼）

折り紙で作った輪飾りが天井から吊るされている。
山村詩子（34）、電話している。

山村永愛（3）、西本恵子（60）に教わりながら茹でたエビの殻を剥いている。
永愛、上手に剥けたエビの身を恵子に見せる。恵子、笑う。詩子にも見せ、詩子も笑う。
恵子、エビの身を大皿に並べる。大皿は細切りのマグロやキュウリなど、手巻き寿司の具材で一杯。
詩子、電話に戻って、呆れ顔。
部屋の隅には、スタンドに立てられたタブレット。待受には俊樹含めた家族四人の集合写真。
インターホンの音。

14. 西本家・玄関（昼）

詩子、玄関を開けると永愛の幼稚園の友達・藤川芽瑠（3）が入ってくる。永愛、駆け寄る。
続いて、藤川真由（32）、藤川龍雄（39）入ってきて、詩子、恵子に挨拶。
詩子、二人に軽く、頭を下げ謝る。苦笑いの二人。

15. スーパーマーケット・店内（昼）

色鮮やかなフルーツが山のように陳列された店内。
俊樹、バスケット片手に店内を歩いている。
中にはビールや菓子など。
ふと、惣菜コーナーの前で立ち止まる。

16. 西本家・ダイニング

テーブルの上は手巻き寿司の用意が準備万端。
永愛、厚紙でできた誕生日帽子を被っている。
龍雄、クラッカーを鳴らす。
子供はジュースで、大人はビールで乾杯。
テーブルの一角に、タブレットの置かれた席。ビデオ通話で繋がれた俊樹の顔が写っている。
龍雄、ビデオの俊樹を覗き込んで、乾杯。
俊樹、申し訳なさそうな顔で応じる。

17. 俊樹のコンドミニウム・仕事部屋（昼）

俊樹、PCデスクに座って缶ビールを持っている。
俊樹の画面には、手巻き寿司を作っている龍雄の手元が写っている。手際よくエビや玉子を巻く。
俊樹、仕方なくその様子を眺めながら、ビールをちびっと飲み、惣菜パックに入ったエビの生春巻きをチリソースにつけて一口食べる。
突然、カメラ画面がブラックアウト。

18. 西本家・ダイニング（昼）

永愛、ジュースのコップを倒す。
大人たち、てんやわんやになりながら、テーブルや床を拭いている。
その陰で芽瑠、手を伸ばしてマグロを取った拍子にタブレットを倒す。
誰も気づかず、そのままになっている。

19. 俊樹のコンドミニウム・仕事部屋（昼）

デスクの上には、空のビール缶。
俊樹、プシュッと二本目を開け、ふとデスクに置かれた写真立てが目に入る。笑顔の永愛。思わず笑みが溢れる。
カメラ画面に申し訳なさそうな詩子が映り込む。

20. 西本家・ダイニング（昼）

詩子、永愛が映るような角度にタブレットを置く。
画面に向かって手を振って、俊樹の方を見るよう永愛に促す。
画面の俊樹、一生懸命に手を振って呼びかける。
永愛、タブレットを見るが、そっけない顔。
すぐに手巻き寿司に視線を戻して、淡々と食べる。
詩子と画面の俊樹、苦笑い。

21. 西本家・リビング

恵子、永愛と芽瑠に絵本を読み聞かせている。

22. 西本家・キッチン

詩子、ケーキに刺した蝋燭に、火を点けている。

23. 西本家・ダイニング

龍雄と真由、リビングで遊ぶ子供たちを横目に見ながら、二人肩を寄せて俊樹のタブレットの画角に入り、談笑している。

龍雄、テーブルの上のワインボトルの文字をカメラに向けて写し、指で指しながら話している。

24. 俊樹のコンドミニアム・仕事部屋（昼）

俊樹、感心した顔で相槌を打っている。

カメラ画面。画素が荒く、文字は読み取れない。

25. 西本家・ダイニング（昼）

詩子、龍雄と真由、タブレットの俊樹に何やら耳打ちした後、リビングの三人を呼び寄せ、永愛の向かいにタブレットを設置。

詩子、部屋の電気を消して、蝋燭に火のついたケーキを運んでくる。手拍子する大人たち。

26. 俊樹のコンドミニアム・仕事部屋（昼）

俊樹、カメラ画面に永愛が映るや否や、手を振る。しかし途端にブラックアウト。

画面には真っ暗闇を飛び交う光。

ピントが合わず、何も見えない。

俊樹、カメラの設定を変えたりしてどうにかしようと頑張る。

27. 西本家・ダイニング（昼）

詩子、一眼レフを取り出し、写真を撮り始める。

永愛、テーブルに置かれたケーキの蝋燭に向かって、勢いよく息を吹きかける。

蝋燭の火が消えて、真っ黒な部屋にタブレットに映る俊樹のカメラ画面だけが浮かび上がる。

その明かりでぼんやりと照らされている永愛の顔。

永愛、タブレットに映る俊樹を見る。俊樹、困り果てている。永愛、その困り顔に笑い、軽く手を振る。詩子、笑ってその様子を写真に収めてから、電気を点ける。

拍手する大人たち。

28.

俊樹のロンドン・仕事部屋（朝）

スーツ姿の俊樹、身支度を済ませ、デスクの上の写真立てに笑顔で手を振ってから、部屋を出る。

写真立てが一つ増えている。真っ暗闇に浮かぶ困惑した俊樹の顔と、手を振る笑顔の永愛。

（おわり）